

(3) スポーツ振興について

【スポーツ局】

- ① 第 2 期滋賀県スポーツ推進計画の策定について(資料 3-2)
- ② 県立スポーツ施設について(資料 3-3)
- ③ 滋賀県における障害者スポーツ施策について(資料 3-4)
- ④ プロスポーツの振興について(資料 3-5)
- ⑤ ホストタウンの取組の現状について(資料 3-6)
- ⑥ ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催について(資料 3-7)

【保健体育課】

- ⑦ 次代を担う子どもの運動・スポーツ活動について(資料 3-8)

(3)スポーツ振興について

「第2期滋賀県スポーツ推進計画」の策定について

[文化・スポーツ戦略 重点施策①-1、2 重点施策③]

1. 趣旨

平成 25 年 3 月に策定した「滋賀県スポーツ推進計画」においては、概ね 5 年間を計画期間としており、また、東京オリンピック・パラリンピックの開催や、「滋賀県スポーツ推進条例」(平成 27 年 12 月)の施行、国の第 2 期スポーツ基本計画の策定(平成 29 年 3 月)などスポーツを取り巻く外部環境の変化も大きい。このような状況を踏まえ、平成 30 年 3 月を目途に、本県の今後 5 年に亘るスポーツ推進の指針となる「第 2 期滋賀県スポーツ推進計画」をあらたに策定する。

2. 審議経過

■ 平成 28 年 5 月 11 日 第 1 回滋賀県スポーツ推進審議会

・計画策定にあたっての方向性を審議

◎ 平成 28 年 11 月 18 日 知事から滋賀県スポーツ推進審議会会長へ諮問

■ 平成 28 年 11 月 24 日 第 2 回滋賀県スポーツ推進審議会

・計画の方向性を審議

現行滋賀県スポーツ推進計画、滋賀県スポーツ振興条例、国の第 2 期基本計画の変化・方向性を反映して策定。

・計画に盛り込むべき内容を審議

「障害者スポーツ」、「学校教育」、「スポーツイベント」、「総合型地域スポーツクラブ」
「滋賀らしさ」、「レガシー創出」

■ 平成 29 年 2 月 10 日 第 3 回滋賀県スポーツ推進審議会

・計画骨子(素案)を審議

基本方針 1 スポーツの力で「豊かな生活」を創る!

基本方針 2 スポーツの力で「元気な地域」を創る!

基本方針 3 スポーツの力で「感動の滋賀」を創る!

■ 平成 29 年 5 月 8 日 第 4 回滋賀県スポーツ推進審議会

・計画骨子(案)を審議 ※別紙「第 2 期スポーツ推進計画の体系」のとおり

◎ 平成 29 年 5 月 17 日 県議会県民生活・土木交通常任委員会に報告

5 月 26 日 文化・スポーツ対策特別委員会に報告

3. 今後のスケジュール(予定)

■ 平成 29 年 7 月 第 5 回滋賀県スポーツ推進審議会 答申(素案)審議

8 月 文化・スポーツ対策特別委員会に報告

■ 平成 29 年 9 月 第 6 回滋賀県スポーツ推進審議会 答申(案)審議、決定

◎ 平成 29 年 9 月 滋賀県スポーツ推進審議会会長から知事へ答申
、10 月 文化・スポーツ対策特別委員会に報告



パブリックコメント・議会報告を経て、

平成 30 年 3 月 までに第 2 期スポーツ推進計画策定

※適宜、検討状況を議会に報告

第2期スポーツ推進計画の体系

<計画の期間>

平成30年度(2018年度)から5年間

<めざす姿> スポーツで滋賀を元気に！滋賀の未来を創る！

すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、自ら進んで参画し、互いに連携・協働することを通じて、滋賀県民であることに誇りを感じて、幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会の実現

基本方針

I

スポーツ
の力で
「豊かな
生活」を
創る！

人

II

スポーツ
の力で
「元気な
地域」を
創る！

地域

III

スポーツ
の力で
「感動の
滋賀」を
創る！

国体・
全スポ
大会開催

政策と目標・指標

政策

1. 生涯にわたるすべての県民のスポーツ活動の充実

政策目標

年齢や性別、障害のあるなし等に関わらず、すべての県民が「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しめるよう、スポーツ活動や学校体育の充実を目指す

指標

- 成人(男・女)の週1回以上のスポーツ実施率 **男女ともに65%以上**
- 子ども(男・女)の1週間の運動・スポーツ実施時間(小学5年) **男女ともに全国平均を上回る**
- 障害者の週1回以上のスポーツ実施率 **40%以上**

政策

2. スポーツの持つ多様な価値の共有

政策目標

スポーツの持つ多様な価値の発信と共有を目指す

指標

- しがスポーツ大使の就任数 **50人以上**
- 県内企業に採用されたアスリート数 **20人以上**
- スポーツボランティア登録者数 **2,000人以上**

政策

3. スポーツ施設・環境の充実

政策目標

県民が気軽にスポーツを楽しむことができる「する、みる、支える(育てる)」スポーツ環境の充実に努める

指標

- 総合型地域スポーツクラブで指導する有資格スポーツ指導者数 **370人以上**
- 県立スポーツ施設の利用者数 **110万人以上**
- 障がい者スポーツ指導者数 **380人以上**

政策

4. スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化

政策目標

スポーツを通じて元気で活力ある地域を創るため、さまざまな団体が主体的に連携・協働し、地域の活性化を目指す

指標

- スポーツ・レクリエーションを目的とする観光入込客数 **1200万人以上**
- 滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲームの観客数 **10万人以上**

政策

5. 国体・全スポ大会に向けた競技力向上と競技者の拡大

政策目標

国体・全国障害者スポーツ大会等の開催に向けて県民一丸となって、競技者の拡大を図る

指標

- 国体総合順位 **8位以内**
- 県障害者スポーツ大会の参加者数 **1,200人以上**

政策

6. 地域の特性を活かした大会レガシーの創出

政策目標

大会開催を契機として、地域の特性を活かした滋賀らしいレガシーの創出を目指す

指標

- スポーツボランティア登録者数(再掲) **2,000人以上**
- オリ・パラ等を通じて海外との交流を始めた市町数 **6市町以上**

展開方策

- 県民総スポーツの機会づくりの推進
- 幼児期からの運動(遊び)・スポーツ活動の充実
- 体育・保健体育の授業の充実
- 運動部活動の活性化
- 障害のある人の参加機会拡充
- 女性の参加機会の拡充
- 中高年の運動習慣定着化の推進

- スポーツのもつ多様な価値の発信
- トップアスリートの県内での活躍の場の提供

- 地域スポーツクラブの育成
- 公共スポーツ施設等の活用・充実
- 琵琶湖をはじめとする自然を活かしたスポーツの推進(滋賀らしさの創出)

- 地域とスポーツ団体との連携・協働の推進
- 大学・企業等とスポーツ団体との連携・協働の推進
- スポーツイベント、トップアスリート等を活かした地域の活性化
- スポーツの成長産業化

- 優れた能力を有するジュニア世代の発掘・育成
- スポーツ指導者等の育成
- スポーツエキスパートの育成

- スポーツにおけるレガシーの創出
- スポーツを通じた他分野におけるレガシーの創出

(3)スポーツ振興について

県立スポーツ施設について

[文化・スポーツ戦略 重点施策③-5]

県立スポーツ施設については、平成 26 年度に実施した「県立社会体育施設の最適な管理についての調査研究」の結果を踏まえつつ、平成 36 年に開催が予定される国民体育大会・全国障害者スポーツ大会における活用等も見据えながら、各施設の整備を進めていくこととする。

1 体育館

国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、スポーツ・健康づくりの拠点整備を目指し、老朽化が進み、施設が狭隘となっている現体育館（ウカルちゃんアリーナ）をびわこ文化公園都市内に移設整備することとし、平成 28 年度に「新県立体育館施設整備基本計画」を策定した。

また、県民サービスの向上や財政支出の軽減など高い効果が期待できることから PFI 方式により事業を実施することとし、平成 29 年度においては、アドバイザー一業務委託を行い、事業の進捗を図るとともに、用地造成に向けた基本設計や環境調査等を実施する。

なお、現体育館については、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催後は、廃止することとし、跡地については、地元大津市の意見を参考にしながら、有効活用を検討する。

(新体育館の整備概要)

① 基本コンセプト

すべての県民がスポーツに参画し健康づくりに取り組むとともに、さまざまな交流や連携を通じて、元気で豊かな生活と滋賀を創造する地域の拠点を目指す。

② 目指す姿

- ・競技スポーツだけでなく、生涯スポーツや健康づくりの拠点
- ・大学をはじめとする周辺施設・機関と連携した全県への機能発揮
- ・すべての人に利用しやすく、交流できる場の創出
- ・多機能、多目的な利用への対応
- ・緑豊かな環境の活用
- ・整備・運営への民間活力の導入

③ 想定規模

・メインアリーナ

面積：2,760 m²程度

(69m×40m バスケットボールコート 3 面)

観客席：5,000 席程度

・サブアリーナ

面積：1,026 m²程度 (27m×38m)

観客席：200 席程度

2 スポーツ会館

トレーニング機能について新県立体育館に複合化する。新体育館竣工後は、県立施設としては廃止し、その後の利活用について地元大津市と協議を行う。

3 スイミングセンター

(仮称)彦根総合運動公園の整備に伴い現スイミングセンターを廃止することから、市町に対しプール整備の意向の有無について照会を行い、平成29年度のできるだけ早い段階で、整備を検討する市町とともに必要な調査等を実施できるよう、調整に努める。

4 琵琶湖漕艇場

本県のボート競技およびカヌー競技活動の中心施設として重要な役割を果たしてきた一方、施設開設後46年が経過し、管理棟や艇庫をはじめとする施設の老朽化、コース利用における安全対策などの様々な課題が顕在化している。

このため、平成29年度は、利用者の利便性・安全性の向上や競技会場としての機能強化に向けた改修等を行うべく、基本計画を策定するとともに、管理棟・艇庫の改修に係る設計等を実施する。

5 その他の施設

現状施設の維持を図るため、必要に応じて施設の修繕・機器の更新等を実施する。
(平成29年度における主な実施箇所)

- ① 長浜ドーム (長浜バイオ大学ドーム)
 - ・北側出入口新設工事
 - ・電光掲示板改修工事
 - ・正面広場改修工事
- ② 柳が崎ヨットハーバー
 - ・ボート会館等撤去工事 (設計)
- ③ アイスアリーナ
 - ・上部壁面有孔ボード撤去工事 (設計)

(3) スポーツ振興について

滋賀県における障害者スポーツ施策について

[文化・スポーツ戦略 重点施策③-1、2]

1. 現状と課題

- 県大会参加者の高齢化と参加者減。(とりわけ若年層の参加者が少ない)
- 障害者が身近にスポーツに取り組む環境が限られている。
- 指導者の多くは、障害当事者か、日頃から障害者に学校等で直接関わる人であり、身近な地域で障害者スポーツを指導・支援する体制が十分とは言えない。

2. 主な取組

(1) 県による障害者スポーツ大会の開催

①滋賀県障害者スポーツ大会(県大会)

- ・対象競技は、個人 6 競技、団体 4 競技の計 10 競技
- ・県大会は、次年度の全国障害者スポーツ大会の個人競技予選を兼ねている。
- 平成 28 年度から「県民総スポーツの祭典」に位置づけられた。
- 参加要件を緩和し、参加者増を図る。

【参加者数の推移】

| 大会名 | H22 年度 | H23 年度 | H24 年度 | H25 年度 | H26 年度 | H27 年度 | H28 年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 陸上 | 299 | 292 | 238 | 244 | 219 | 223 | 262 |
| 水泳 | 65 | 58 | 64 | 54 | 64 | 59 | 65 |
| 卓球 | 180 | 171 | 192 | 173 | 152 | 160 | 175 |
| フライングディスク | 278 | 229 | 195 | 186 | 187 | 184 | 160 |
| アーチェリー | 62 | 54 | 47 | 55 | 56 | 60 | 51 |
| ボウリング | 87 | 83 | 71 | 75 | 55 | 66 | 56 |
| サッカー | 53 | 52 | 82 | 50 | 43 | 62 | 50 |
| バスケットボール | 40 | 38 | 68 | 33 | 32 | 65 | 71 |
| ソフトボール | 45 | 57 | 119 | 79 | 84 | 67 | 72 |
| バレーボール | 41 | 27 | 36 | 31 | 31 | 21 | 33 |
| 合計 | 1150 | 1061 | 1112 | 980 | 923 | 967 | 995 |
| 下段()は実数 | | | | | | (696) | (757) |

②スペシャルスポーツカーニバル

- ・知的障害者（児）を対象とした県大会（運動会）。
- ・知的障害者（児）相互の親睦と体力の向上を図るとともに、県民の知的障害者（児）に対する理解と協力を深めることを目的とし、昭和30年以来30年以上の歴史。
- ・実施競技は、徒競走、玉入れ、800m走、1500m走、支部対抗リレー、ダンスなど。

【参加者数の推移】

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 653 | 613 | 523 | 547 | 555 | 538 | 487 |

(2) 全国障害者スポーツ大会への選手派遣等

①経緯

- ・平成13年に身体、知的の両大会が統合され「第1回全国障害者スポーツ大会」が宮城県で開催。以降、国体開催地で毎年開催され、平成29年は愛媛県で第17回大会が開催予定。

②参加者・実施競技

参加者数：選手（身体・知的・精神）：約3,500人、役員：約2,000人

個人種目：陸上、水泳、卓球、フライングディスク（以上身体・知的）、アーチェリー（身体）、ボウリング（知的）

団体競技：車椅子バスケットボール、バスケットボール（知的）、グランドソフトボール（視覚）、ソフトボール（知的）、フットベースボール（知的）、バレーボール（聴覚・知的・精神）、サッカー（知的）

③選手団の派遣について

- ・開催地への出発日に滋賀県選手団の結団・壮行式、帰県時に解団式を開催。
- ・全国障害者スポーツ大会中は、大会前日に行われる公式練習から参加。監督・コーチ・総務スタッフが移動日・練習日を含む6日間の期間中、生活面・競技面などから選手をサポート。
- ・団体競技については、近畿予選会に優勝した場合に限り、全国大会に派遣する。

【過去3年間の本県の参加者数と成績】

| 大会 | 参加者数 | メダル数 | | | | 大会新記録 | 自己新記録 | 団体競技出場実績 |
|--------------|------|------|----|----|----|-------|-------|----------------|
| | | 金 | 銀 | 銅 | 計 | | | |
| 第16回岩手（H28） | 27 | 16 | 14 | 5 | 35 | 3 | 11 | - |
| 第15回和歌山（H27） | 33 | 16 | 17 | 12 | 45 | 5 | 16 | - |
| 第14回長崎（H26） | 38 | 14 | 17 | 5 | 36 | 0 | 14 | グランドソフトボール（12） |

④選手の育成

全国障害者スポーツ大会の出場を目指す候補選手を育成するため、

- ・全国障害者スポーツ大会に向け、記録会（4月）、合同練習会（5月）、合同合宿（6月）競技別練習会（月2回程度）を開催。全国障害者スポーツ大会後も1月・2月・3月に合同練習会を実施している。
- ・練習会には出場選手だけでなく、来年以降に出場が期待される選手も練習に参加してもらうことで、競技の普及向上に努めている。

（3）障害者スポーツ推進事業

障害者の身近な地域での障害者スポーツ普及の体制づくりやノウハウに関する実践研究を実施する。

① 地域での障害者スポーツの普及

- ・委託先 総合型地域スポーツクラブ9団体（新規2団体、旧7団体）
- ・内容 障害のある人が身近な地域でスポーツを楽しめる環境を整備するため、障害者スポーツを実施できる体制づくりを進める。

② 障害者スポーツ支援事業

- ・委託先 滋賀県広域スポーツセンター
- ・内容 障害者スポーツの実践にかかる相談支援および関係機関との連絡調整を行う。

（4）パラスポーツチャレンジプロジェクト（競技力向上対策本部事業）

特別支援学校でこれまで取り組んでこなかった種目を実施しながらスポーツ活動の充実を図り、特別支援学校を拠点とした住民も参加したスポーツ交流を図る。

平成29年度は、新たに大学と連携し、特別支援学校での一層のスポーツ振興を図る。

(3) スポーツ振興について

プロスポーツの振興について

[文化・スポーツ戦略 重点施策①-2 重点施策③-1、6]

1 基本的な考え方

プロスポーツには、①子どもたちに夢や希望を与え、青少年の健全育成に資する ②地域経済への波及効果 ③地域アイデンティティの醸成(地域の誇り)等多くの可能性がある。

スポーツを通じた地域活性化を具体的に推進していくために、プロスポーツチーム等と連携し、その力を効果的に活用した施策展開を図る。

2 主な取組

(1)しがスポーツ大使

本県ゆかりのトップアスリート等を「しがスポーツ大使」に委嘱し、県内で開催される運動会等、身近な催しで交流し、滋賀のスポーツの魅力を国内外に発信する。

○就任者 26 組 (21 名・5 団体)

[50 音順]

| | 氏名/団体名 | 職種/競技種別等 | 出身地等 |
|----|-----------|----------------------------------|------|
| 1 | 我孫子 智美 | 陸上棒高跳 日本記録保持者 | 草津市 |
| 2 | 伊勢田 愛 | セーリング リオオリンピック日本代表 | 高島市 |
| 3 | 井原 正巳 | Jリーグ アビスパ福岡監督 | 甲賀市 |
| 4 | 江上 陽子 | 車いすバトミントン 日本代表 | 栗東市 |
| 5 | 垣岩 令佳 | ロンドンオリンピック バドミントン 銀メダリスト | 大津市 |
| 6 | 北田 千尋 | 車いすバスケットボール 日本代表 | 湖南市 |
| 7 | 木村 敬一 | ロンドンパラリンピック競泳銀メダリスト | 栗東市 |
| 8 | 近藤 寛子 | 2016 リオパラリンピック 視覚障害者マラソン日 本代表 | 栗東市 |
| 9 | 滋賀レイクスターズ | プロバスケットボール (Bリーグ1部) | 滋賀 |
| 10 | 清水 美並 | フィールドホッケー リオオリンピック日本代表 | 米原市 |
| 11 | 瀬田漕艇倶楽部 | ボート | 大津市 |
| 12 | 園田 新 | レスリング グレコローマン 130kg 級 | 日野町 |
| 13 | 東レアローズ | Vプレミアリーグ加盟バレーボールチーム | 大津市 |
| 14 | 東レ滋賀ボート部 | ボート | 大津市 |
| 15 | 鳥羽 賢二 | びわこ成蹊スポーツ大学副学長 元バレーボール日本代表選手 | 大津市 |

| | 氏名／団体名 | 職種／競技種別等 | 出身地等 |
|----|-----------|-----------------------------------|-------|
| 16 | 西村 綾加 | フィールドホッケー リオオリンピック日本代表 | 米原市 |
| 17 | 則本 昂大 | 東北楽天ゴールデンイーグルス 選手 | 多賀町 |
| 18 | 福家 育美 | 車いすバトミントン 日本代表 | 守山市 |
| 19 | 松田 宣浩 | 福岡ソフトバンクホークス 選手 | 草津市 |
| 20 | MI Oびわこ滋賀 | JFL 加盟サッカーチーム | 東近江市等 |
| 21 | 宮路 満英 | 2016 リオパラリンピック 馬場馬術日本代表 | 湖南市 |
| 22 | 望月 聡 | びわこ成蹊スポーツ大学教授 元なでしこジャパンコーチ | 大津市 |
| 23 | 森本 真敏 | 陸上ハンマー投げ 2013 デフリンピック銀 | 竜王町 |
| 24 | 山田 光穂 | 柔道 2013 デフリンピック銅 | 彦根市 |
| 25 | 山中 慎介 | WBC 世界バンタム級チャンピオン | 湖南市 |
| 26 | 山堀 貴彦 | 男子ホッケー日本代表監督 聖泉大学助教・同大学ホッケー部監督 | 米原市 |

(大使の活動内容)

- ・ 県内外における本県のスポーツに関する魅力の発信
- ・ 県内で開催される運動会や子ども体験教室といったスポーツイベント等における県民との交流でのスポーツ振興や地域活性化の取組（「しがスポーツ大使交流推進事業」 H28 年度実績 25 件）
- ・ 滋賀県のスポーツ振興に向けた提言や助言

(2) しがスポーツの子

子どもたちのトップレベルのスポーツを生で観戦することにより、将来の夢や希望を提供する機会を持つとともに、県内スポーツを応援する機運を醸成するため、本県を本拠地として活躍するプロスポーツ等の試合観戦を子ども会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等が行った場合、小中学生を対象に入場料の2分の1を補助。（「しがスポーツの子事業」 H28 年度実績 1,157 名）

(3) プロスポーツを活用した滋賀の魅力発信事業

プロスポーツの持つ集客力や全国的な発信力を滋賀の魅力を広く伝えるツールとして位置付け、ユニフォームへのロゴ等の掲示やアウェーゲームでのブース出展等により滋賀の魅力を発信し、地域の活性化につなげるため、滋賀レイクスターズと連携し、次の取組を実施している。

○事業内容

- ・ レイクスのオフィシャルパートナーとしてユニフォームに※ロゴ等を掲示するとともに、ホームゲームにおいてパンフレット配布等、本県事業の発信も連携。
（※ チームポスターやチラシ、会場内ビジョン、ウェブサイトへの掲示も連動）
- ・ レイクスに委託して、アウェーゲームでのブース出展や県産品のプレゼント抽選等による本県のPRを実施。（平成28年度は、名古屋市、富山市、大阪市、仙台市、千葉市の5カ所で実施）

⇒ 観光や滋賀県で開催されるイベントチラシの配布等を通じて滋賀県を広く周知するとともに、滋賀ならではの工夫を凝らした企画を盛り込み、スポーツ会場の賑わいを生かした新たな滋賀のPRにつながっている。

(3) スポーツ振興について

ホストタウンの取組の現状について

[文化・スポーツ戦略 重点施策①-1]

1. ホストタウン交流事業の推進について

・平成 28 年 6 月 14 日の第二次登録を受けて、相手国との交流事業や事前合宿誘致等の推進のための実働組織として、県、市、競技団体および経済団体等により「ホストタウン滋賀交流推進実行委員会」を組織し、関係団体が連携して交流事業等の企画や実施に取り組んでいる。

2. ホストタウンに係る取組実績（平成 28 年度）

(1) デンマークを相手国としたホストタウン（滋賀県・大津市）

①平成 28 年 10 月 9 日 デンマーク体操講習会&演技発表会

・デンマーク人約 30 名の体操団体（ボーリングエリートチーム）を招いて、立命館大学 BKC ジムにおいて、デンマーク体操のワークショップ（150 名参加）等を開催。

②平成 28 年 11 月 26・27 日 ボートとカヌーの日本一のロングレース「Head of the Seta」平成 29 年 1 月 15 日 日本最大規模の「マシンローイング大会」

・Head of the Seta において、デンマーク（2 名）やニュージーランド（5 名）のボート選手等を大会に招待するとともに、歓迎・交流イベント等を開催。

・マシンローイング大会において、デンマーク（4 名）のボート選手等を大会に招待するとともに、歓迎・交流イベント等を開催。



(デンマーク体操講習会&演技発表会風景)



(マシンローイング大会でのデンマーク選手団との交流風景)

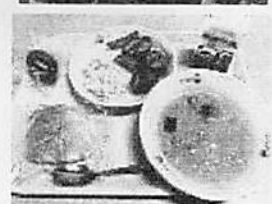
(2) ニュージーランドを相手国としたホストタウン（米原市・滋賀県）

① 平成 28 年 8 月 7 日 ホストタウンキックオフイベント&ホッケー日本女子代表試合パブリックビューイング

・“ホッケーのまち米原”との交流を目指し、ニュージーランド人 ALT (Assistant Language Teacher) を招き同国を紹介。(150 名が参加)

② 平成 28 年 10 月 4 日および 24 日 米原市学校給食ニュージーランドの日

・ニュージーランド国の食文化にふれてもらうため、市内小中学校・園の学校給食にニュージーランド国の料理・食材を取り入れた。



- ③ 平成28年12月22日 ホストタウン交流国理解講演「ニュージーランドを学ぼう」
- ・オリンピック・パラリンピック等経済界協議会会員企業の社員を招き、ニュージーランドの生活や食文化、スポーツ等について理解を深めた。(市職員、関係団体職員等約100人が参加。)
- ④ 平成29年1月/2月 事前合宿交渉等のためのニュージーランド訪問
- ・NZホッケー協会と事前合宿誘致に向けた面談、在オークランド日本国総領事館への協力依頼等を実施。
 - ・NZジャパンデー(オークランド)で、パンフレット等により米原市をPRするとともに、今後の交流拡大に向け現地ホッケー環境サイクリング環境等の視察を実施。



(3) トルコを相手国としたホストタウン(守山市・滋賀県)

① 平成29年1月5日-10日 トルコ視覚障害者スポーツ連盟等競技関係者来滋

- ・トルコとの交流開始の端緒となる競技である視覚障害者柔道およびゴールボール関係者3名(トルコ視覚障害者スポーツ連盟)を招聘し、守山市施設/県施設(武道館)のほか、大学の立地・施設状況やリラクゼーション環境等の視察を実施。

(日本視覚障害者柔道連盟関係者も招聘)



3. ホストタウンに係る今後の取組(平成29年度)

■ 既登録のホストタウンにかかる交流事業等の実施

(1) デンマークを相手国としたホストタウン(滋賀県・大津市)

① 朝日レガッタ70周年と連携した交流事業の実施(5/4-5/7)

- ・デンマーク人選手3名のレースへの招聘(あわせてニュージーランド選手等2名も招聘)
- ・70周年記念レセプションと連携した交流の実施

② デンマーク人アーティストとのコラボレーションによる文化交流の実施

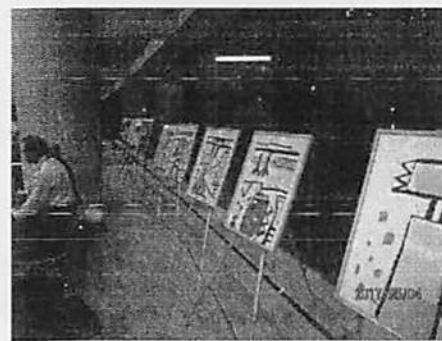
- ・デンマーク人アーティスト、びわ湖ホールと連携した子ども向けワークショップ「Circle of Nature」の開催(アーティストの作品等は①のレセプションでも披露)

③ その他

- ・デンマークボート連盟の事前合宿検討状況も視野に入れながら、関係者の招聘等を調整する。また、28年実施の交流事業(HOS・MR・デンマーク体操等)の継続実施等を検討する。



(びわ湖ホールでのレセプション風景)



(レセプション時のデンマーク人アーティスト作品展示)

(2) ニュージーランドを相手国としたホストタウン（米原市・滋賀県）

- ①市が進める交流事業とも連携し、相手国との交流基盤づくり、ニュージーランドホッケー協会との関係強化等に取り組む。

(3) トルコを相手国としたホストタウン（守山市・滋賀県）

①ルシオールアートキッズフェスティバルと連携したトルコ関連企画の実施(5/13、14)

- ・在日トルコ大使やトルコ演奏団体の招聘による記念公演の開催等
- ・市長／市教育長／知事／副知事をはじめ地元関係者との交流



(守山中学校での柔道練習の見学風景)



(ルシオールアートキッズフェスティバルのオープニング)

②その他

- ・トルコ視覚障害者スポーツ連盟との良好な関係を生かしながら、スポーツを通じた地域の活性化（市民・県民向けスポーツ交流事業の開催や、事前合宿に向けた検討の深化等）を検討する。
- ・市の交流事業とも連携し、相手国との交流基盤づくり、関係強化等に取り組む。

■ 新たなホストタウン登録に向けた検討

既登録のホストタウンにおける取組実績等を他市町や競技団体等に紹介しながら、また、別途県が委託する専門事業者によるスポーツ交流のコンサルティング機能も活用しながら、新たなホストタウン登録を目指す。

(3) スポーツ振興について

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催について

[文化・スポーツ戦略 重点施策③-3]

1 オークランド大会の調査概要

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催に向け、前回大会であるニュージーランドで開催されたオークランド 2017 大会を調査し、関西大会準備に向けた情報収集および滋賀県の PR を行った。

- ① 大会開催日：平成 29 年 4 月 21 日(金)～30 日(日) (10 日間)
- ② 大会規模：参加者 約 100 の国・地域から約 28,000 人、開催種目 28 競技
- ③ 調査内容：滋賀県で開催する 6 競技の運営、会場及び周辺状況、大会参加者への PR 活動
- ④ 調査競技

各競技について、会場設営・競技進行はじめ周辺の交通アクセスや傷病対応の状況等、現地スタッフから聞き取り調査等を行った。

➤ 陸上競技 (10km ロードレース)

開催日：4/22 (土)

会場地：オークランドウォーターフロント、
クイーンズワーフ

訪問者(視察日)：滋賀陸上競技協会 (4/22)、
県スポーツ局 (4/22)



(10KM ロードレース クイーンズワーフ付近)

➤ カヌー競技 (ドラゴンボート)

開催日：4/29 (土)・4/30 (日) の 2 日間

会場地：ププケ湖 (オークランド北部)

訪問者(視察日)：滋賀県ドラゴンボート協会 (4/28～4/30)、県スポーツ局 (4/29)

➤ ホッケー競技

開催日：4/22 (土)～4/30 (日) の 9 日間

会場地：ノースハーバーホッケーセンター (オークランド北部)

ウエストレイク女子高校内ホッケー場 (オークランド北部)

訪問者(視察日)：米原市 (4/22)、滋賀県ホッケー協会 (4/22)、県スポーツ局 (4/23)



(ボート会場：カラピロ湖、ドンローランズセンター) (ソフトボール会場：ノースハーバースタジアム周辺)

➤ **ボート競技**

開催日：4/24（月）～4/28（金）の5日間
会場地：カラピロ湖（オークランド南方200km程度）
訪問者（視察日）：滋賀県ボート協会（4/22～4/28）、
県スポーツ局（4/28）

➤ **ソフトボール競技**

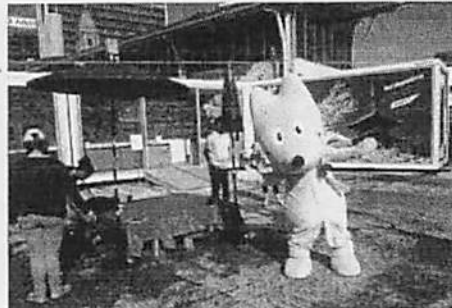
開催日：4/21（金）～4/30（日）の10日間
会場地：ノースハーバースタジアム（オークランド北部）
ローズデールパーク内ソフトボール場（オークランド北部）
ランギトト・カレッジ内ソフトボール場（オークランド北部）
訪問者（視察日）：東近江市（4/21～4/23）、
滋賀県ソフトボール協会（4/21～4/23）、
県スポーツ局（4/21・4/23）

➤ **野球競技**

開催日：4/21（金）～4/30（日）の10日間
会場地：ロイド・エルスモアパーク（オークランド南東部）
訪問者（視察日）：東近江市（4/21～4/23）、
滋賀県軟式野球連盟（4/21～4/23）、
県スポーツ局（4/21・4/23）



（ソフトボール会場の交流の場風景）



（クイーンズワーフ 関西ブース周辺風景）

⑤ **関西ブースでの広報活動**

設置期間：4/21（金）～4/30（日）の10日間
会場地：クイーンズワーフ（オークランド港付近）
広報担当：関西 WMG 職員（常時）、県職員（随時）
広報活動：送付のパンフレットのブース設置、来訪者への説明・PR、写真撮影
・海外選手からは、本県開催種目について質問あり、日本人選手からは開催アピールの協力あり。

※ 三日月知事は、4月20日にオークランドに到着し、国際マスターズゲームズ協会会長、オークランド市長と懇談し、開会式に出席するとともにソフトボール等の視察を行った。

2 **調査の結果について**

オークランド大会で得た情報を取りまとめ、大会準備を着実に進めるとともに、関西大会の周知のための情報発信を進める。

3 今後の取組について

県内における大会運営について、関係市や競技団体、経済団体で構成する「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西・滋賀実行委員会」において準備・検討を進める。

<平成 29 年度中の主な取組、検討事項>

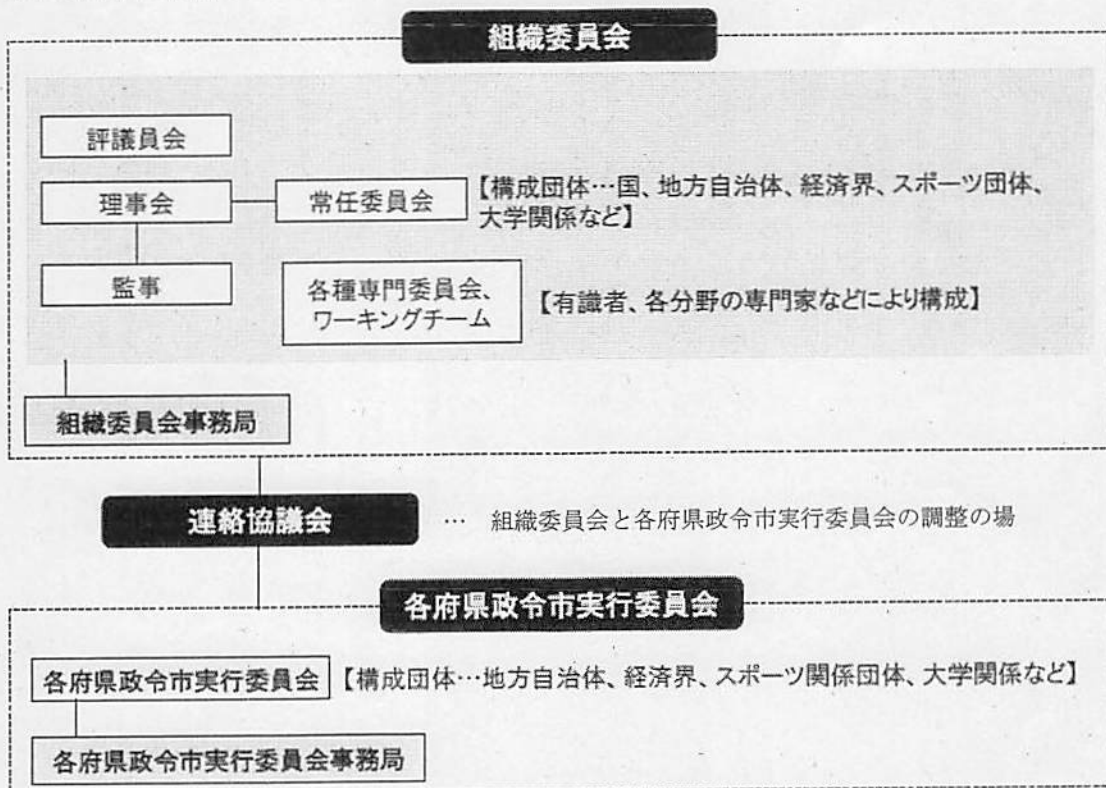
- オークランド大会視察結果の総括
- 会場施設、周辺施設等の利用に向けた調整
- 宿泊・交通に関する状況調査
- 大会参加者の交流の場づくりに関する企画検討
- 競技別実施要項概要（種目・日程・定員等）の策定

参考：大会準備における実施体系図


(ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 大会基本計画より抜粋)

《実施体制図》

組織委員会及び各府県政令市実行委員会を推進体制の中心に据えて、各関係者が協力連携を図りながら大会準備を進めていく。



世界最大の一般参加型、国際総合スポーツ大会が関西にやってくる!

| | | | |
|---|---|---|---|
|  <p>参加基準は年齢 (概ね30歳以上) のみで上限なし! ※競技種目ごとに設定</p> | <p>32競技55種目の プログラムに 複数エントリー 可能!</p> | <p>史上最大! 約5万人の スポーツ愛好家が 集結!</p> | <p>男女・年代別に 種目を実施! 各年代別に メダルを授与!</p> |
|---|---|---|---|

ワールドマスターズゲームズの第1回目が開催されたのは1985年のこと。
場所はカナダのトロントでした。その後、4年ごとにデンマーク、オーストラリア、
アメリカなど各地で開催され、これまで述べ14万人のスポーツ愛好家が参加しています。
そんなワールドマスターズゲームズが2021年、アジアで初めて、日本にやってくるこ
が決定しました。世界中からやってくる約5万人のスポーツ愛好家と一緒に、ワールド
マスターズゲームズを盛り上げてみませんか。



競技種目

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■アーチェリー(ターゲット) ■陸上競技 (トラック&フィールド/競歩/ 10Kmロードレース/ ハーフマラソン/駅伝) ■バドミントン ■バスケットボール ■カヌー (マラソン/スラローム/スプリント/ ドラゴンボート) ■自転車 (マウンテンバイク/トラック/ ロードレース/BMX) ■ホッケー ■サッカー(サッカー/フットサル) | <ul style="list-style-type: none"> ■オリエンテーリング(ロング/スプリント) ■ボート ■射撃(ライフル/クレー) ■ソフトボール ■スカッシュ ■卓球 ■トライアスロン (トライアスロン/デュアスロン/ アクアスロン) ■ウエイトリフティング ■野球(硬式野球/軟式野球) ■ボウリング ■ダンススポーツ ■ゴルフ | <ul style="list-style-type: none"> ■ハンドボール ■柔道 ■空手道 ■ラグビーフットボール ■セーリング(ヨット/ウィンドサーフィン) ■水泳 (競泳/飛込/水球/ シンクロンダイズスイミング/オープンウォーター) ■テニス(テニス/ソフトテニス) ■綱引 ■バレーボール(インドア/ビーチ) ■デコンドー ■グラウンド・ゴルフ ■ゲートボール |
|---|--|--|

※場合によっては変更することもあります。

ワールドマスターズゲームズ2021関西 協賛企業

メジャーパートナー

| | | | | | | | | |
|--|--|-------------|--|---------|--|--------|--|-------------------|
| | | 三井住友銀行 | | Hankyu | | 住友電工 | | KEIHAN |
| | | Daiwa House | | 日本生命 | | DAIKIN | | NTT西日本 |
| | | 近鉄グループHD | | Iwatani | | 大阪ガス | | MUFG 三菱東京UFJ銀行 |

パートナー

サポーター

| | | | | | | | | |
|--|--|---------|--|------|--|-----------|--|--------|
| | | 阪神電車 | | 大林組 | | Panasonic | | NANKAI |
| | | SUNTORY | | 大同生命 | | HITACHI | | HASEKO |

関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会事務局
〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル23F

お問い合わせ kansai-wmg@wmg2021.jp
ホームページ http://www.wmg2021.jp/
Facebook http://www.facebook.com/wmg2021/

共催：公益財団法人日本体育協会 後援：スポーツ庁 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会




開催期間 2021年5月15日(土)~5月30日(日)の16日間

詳しくはウェブ・Facebookで <http://www.wmg2021.jp/> WMG2021 検索



(3) スポーツ振興について

次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実について

1. 目標

すべての子どもが、将来自ら進んで楽しみながらスポーツに取り組めるよう、学校において子どもの運動・スポーツ活動を充実し、基礎を培う取組を推進する。

- (1) 幼児期からの運動(遊び)・スポーツ活動の充実
- (2) 体育・保健体育の授業の充実
- (3) 運動部活動の活性化

2. 主な取組

① 幼児期の運動遊び促進事業

幼児の運動能力等調査により実態を把握し、幼児期運動指針に基づいた運動遊びを推進する。また、指導者研修会の実施や実践事例集による運動遊びの促進を図る。

② 子どもの体力向上推進事業

子どもの体力向上に係る課題や方策を共有し、子どもの運動機会の充実を図る。

(子どもの体力向上委員会、健やかタイム、チャレンジランキング)

③ 体育教員の資質向上・指導力強化事業

運動好きの子どもを育成するために、運動量を確保しながら子どもをやる気にさせる授業改善と教員の資質向上・授業力強化を図る。

(授業協力者派遣、トップアスリート派遣、授業力アップ研修会、授業研究)

④ 運動部活動人材活用事業

専門的スキルや適切な運動部活動指導の知識を持つ外部指導者(地域スポーツ指導者・退職教員)を学校に派遣することにより運動部活動の支援をする。(H29年度 中学校・高等学校 計 30人)

⑤ 運動部活動指導者スキルアップ事業

科学的で適切な運動部活動の指導ができる指導者を育成する。また、生徒の自主性や主体性を引き出すとともに、体罰防止や安全面について指導力の向上を図る。(研修会を年2回実施)

⑥ 中体連・高体連活動振興事業

中学校体育連盟が、春季総体、夏季総体、秋季総体を開催し、高等学校体育連盟が、春季総体、秋季総体を開催する。また、近畿・全国大会へ選手を派遣する。

⑦ 全国中学校駅伝大会開催事業

平成 28 年度から平成 32 年度まで 5 年間、滋賀県希望が丘文化公園において全国中学校駅伝大会を開催する。